

Parallels® Desktop for ChromeOS



Parallels Desktop for ChromeOS を使用すると、全校で ChromeOS を活用できるようになります。教師、生徒、スタッフは、完全な機能を備えた Windows アプリケーションを、Chromebook デバイス上でオンラインまたはオフラインで直接利用できるようになります。



すべてを Chromebook に集約

全校規模で ChromeOS に移行し、Google 管理コンソールを使用してすべてのデバイスを管理することで、IT の簡素化やセキュリティ問題の軽減が可能になります。



接続性と公平性に優れた環境を実現

Parallels Desktop for ChromeOS ではアプリとファイルへのオフラインアクセスが可能のため、接続が不安定でも指導と学習の機会が制限されることはありません。



クロスプラットフォームの問題点を排除

Parallels Desktop は ChromeOS に完全に統合されています。マウス、カメラ、マイク、音声、プリンタなどがシームレスに利用でき、慣れた操作で使いやすい環境を実現しています。



Parallels Desktop for ChromeOS は非常に使いやすく、教師への特別なトレーニングなどは必要ありませんでした。展開もシンプルで簡単でした。1週間に数時間作業するだけで、全45台の Chromebook にソフトウェアをインストールすることができました。

Wheeler Lane 小学校、IT マネージャー John Byron 氏

よくある質問

Parallels Desktop for ChromeOS とは

Parallels Desktop for ChromeOS を使用すると、完全な機能を備えた従来の独自アプリケーションに ChromeOS デバイスからローカルですばやくアクセスできます。

Google が Parallels と共同でこのソリューションをリリースする理由を教えてください。

Google は、お客様の組織のニーズに合ったソリューションの開発に尽力しています。お客様がワークロードをクラウドに移行しても、従業員が引き続き従来のアプリケーションを利用しなければならない場合があります。Parallels Desktop for ChromeOS を使用すると、エンドユーザーは ChromeOS の利点を活かしながら従来のアプリケーションを利用できるようになります。

Parallels Desktop for ChromeOS と、Citrix や VMware などの仮想化ソリューションとの違いを教えてください。

Parallels Desktop は、完全な機能を備えた従来の独自ソフトウェア (Microsoft Office など) を使用したいが、より広範な仮想化インフラストラクチャに投資しておらず、また投資の予定もないお客様に最適なプロダクトです。またリモートの仮想化ソリューションとは異なり、アプリケーションにオフラインでアクセスできるため、実行するのにインターネット接続を必要としません。

Parallels Desktop for ChromeOS におすすめの ChromeOS デバイスを教えてください。

Parallels Desktop for ChromeOS を実行するのに最適な環境として、8 GB または 16 GB の RAM、128 GB 以上のハードドライブ容量を搭載したハイエンド仕様の ChromeOS デバイスをおすすめします。搭載プロセッサは Intel Core i3 第 11 世代以降、Intel Core i5、Intel Core i7、AMD Ryzen 3 5000 シリーズ以降、AMD Ryzen 5、または AMD Ryzen 7 が必要です。

現在 macOS 用の Parallels Desktop ライセンスを持っています。このライセンスを使用して、Parallels Desktop for ChromeOS をデプロイできますか？

ChromeOS デバイスで Parallels Desktop for ChromeOS を使用するには、Parallels Desktop for ChromeOS 用のライセンスを購入する必要があります。ChromeOS デバイスで Parallels Desktop for Mac OS 用のライセンスを使用することはできません。

ChromeOS 上で Parallels Desktop for ChromeOS のセキュリティはどのように確保されますか？

Parallels Desktop for ChromeOS は、Google のサンドボックス化テクノロジーによって、ChromeOS の他の部分から分離するように設計されています。

Parallels Desktop for ChromeOS には、ユーザーベースとデバイスベースのどちらのライセンスが必要ですか？ Parallels Desktop for ChromeOS ライセンスはどのようにして有効化できますか？

Parallels Desktop for ChromeOS にはユーザーベースのライセンスが必要です。ライセンスは Google 管理コンソールで有効化できます。ライセンスを購入したお客様は、「ライセンス有効化リンク」を受け取ります。



よくある質問

お客様は、購入後に以下のようなライセンス有効化リンクを受け取ります。

<https://admin.google.com/ac/chrome/apps/licenses?redeem=ABC-123-DEF-456>

管理者がこのリンクをクリックすると、Google 管理コンソールに直接移動します。そこでライセンスを有効化した後、Parallels Desktop を利用できるユーザーを決定できます。

Parallels Desktop for ChromeOS を使用するには、Windows ライセンスが別途必要ですか？

既存の Windows EA またはボリュームライセンスを確認し、追加の Windows ライセンスが必要かどうかを判断することをおすすめします。

Parallels Desktop for ChromeOS では、どのバージョンの Windows がサポートされていますか？

Parallels Desktop for ChromeOS では、Windows 10 以降がサポートされています。

Parallels Desktop for ChromeOS は GDPR を遵守していますか？

Parallels のプライバシーポリシーについては、<https://www.parallels.com/about/legal/privacy/> をご覧ください。

Parallels Desktop for ChromeOS はどの国で利用できますか？

Parallels Desktop は、米国の制裁対象となっている国を除き、すべての国でご利用いただけます。

Parallels Desktop for ChromeOS は印刷をサポートしていますか？

はい - Parallels は Chromebook で使用するよう設定されたプリンタをサポートしています。

Parallels Desktop for ChromeOS の管理に関するポリシーには、どのようなものがありますか？

Google 管理コンソールで、エンドユーザー向けの Parallels Desktop 環境に関する以下の機能を設定できます。

- 特定のユーザーと組織部門 (OU) で Parallels Desktop のオンとオフを切り替える
- Parallels Desktop ライセンスをユーザーと OU に適用する
- 診断情報をデバイスから取得できるようにする
- Parallels Desktop でコマンドラインのオンとオフを切り替える
- デプロイする特定の Windows イメージを設定する

